

BOB会 関東支部だより

JTBグループ OB・OG会
関東支部〒110-0005 東京都台東区上野1-10-12 商工中金・第一生命上野ビル7階
電話 03-6284-4875 FAX 03-6284-4876
関東支部ホームページアドレス https://jtbob.com/kanto_hp/wp/11/1 2023年
(令和5年)
第380号

発行：BOB会関東支部

関東支部忘年懇親会を開催します

11月4日(月) 初めての会場「学士会館」

昨年コロナ禍ではありましたが、3年ぶりに関東支部忘年懇親会を開き、多くの方がご出席くださいました。今年も同様に、ただし会場を新たに開催いたします。多くの皆様のご出席をお待ちしております。

期日 12月4日(月) 12時～14時
11時30分より受付
会場 学士会館

当日連絡先はBOB会事務局
☎070(2629)6158

○都営三田線・新宿線／東京
メトロ半蔵門線神保町駅
A9出口徒歩1分

○東京メトロ東西線竹橋駅3
a出口徒歩5分(階段のみ)

○JR中央線・総武線御茶ノ水
駅御茶ノ水橋出口徒歩15分
会費 8500円(同伴者同額)

◆懇親会形式・その他

○立食ビュッフェスタイルですが、椅子も少し用意いたします。

○例年どおり抽選会も行います。

○景品にJTBナイスギフト、JTB旅行券などを用意しました。
○お土産には「旅の絵ごよみ」1

第31回作品展もなく開催

今年の作品展は11月7日(火)～10日(金)まで開催されます。最終日には写真家の御堂義乗さんに、写真作品の講評をいただく予定にしています。多くの方のご来場をお待ちしています。

本をお持ち帰りいただきます。

◆参加申込

同封の参加通知ハガキを11月22日(水)までに郵便局にてお払い込みください。銀行では取り扱いきませんので要注意。

◆会費の支払い

○同封の郵便払込取扱票で、11月22日(水)までに郵便局にてお払い込みください。銀行では取り扱いきませんので要注意。

○払込手数料は関東支部が負担。

○1枚で2人以上払い込む時は通信欄に参加者名を記入。

○念のため当日受領証を持参。

◆取消料

12月1日(金)、17時までに取消の場合は無料。それ以降は、当日取消を含め6000円をいただきます。入金済の場合は、ご指定の口座に振込手数料を差し引いた金額を返金、未入金の場合は請求させていただきます。

◆ルックカレンダー

ルックカレンダーは事前予約制での取り扱いのみで、既に7月31日に締め切っております。なお、今年もBOB会として、会場での販売は行いません。

参加者募集

お申し込みはBOB会事務局へ
(所属倶楽部名・年齢要)

晩秋の箱根を訪ねて！(1泊2日)

何回訪れても新しく変わっている箱根に行ってみませんか？ 四

季折々に魅力ある箱根ですが、今回は晩秋の箱根を訪ねます。今年7月12日にグランドオープンした「箱根ホテル小涌園」に泊まって温泉を楽しみ、夕食はビュッフェスタイルです。翌日は朝食後解散になります。

その後は、美術館を巡ったり、新しくなった乗り物に乗って絶景やグルメを楽しむ等、自由に散策してください。皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしています。

行程 1日目 新宿駅(小田急ロマンスカー)箱根湯本駅(自由解散)箱根ホテル小涌園(チェックイン15時)2日目 朝食後解散(チェックアウト10時)

定員 20名

会費 32000円(宿泊・箱根フリーパス・往路小田急特急料金・保険込)

締切 11月15日(水)

取消 11月22日(水) 取消料発生

主催 常磐倶楽部

担当 井上 和子・山田 章好

参加者募集一覧

お申し込み、お問い合わせはBOB会事務局へ。

実施日	内容	主催
11月15日(水)	秩父札所巡り(第4回)	さきたま
11月21日(火)	近代化産業遺産「浦賀ドック」と開国の地・浦賀	湘南
11月29日(水)	東京の晩秋を楽しむ『野川緑地公園から実篤公園』	武蔵野
12月30日(木)	『史跡巡りシリーズ』江戸城御門巡り内堀・本丸	東京23
12月30日(木)	晩秋の箱根を訪ねて！(1泊2日)	常磐
12月2日(土)	にいがた倶楽部忘年会	にいがた
12月2日(土)	なんたい倶楽部忘年会	なんたい
12月4日(月)	関東支部忘年懇親会	関東支部
12月4日(月)	北関東倶楽部忘年懇親会(1泊2日)	北関東
12月7日(日)	ときわ路倶楽部忘年懇親会	ときわ路
12月12日(火)	『史跡巡りシリーズ』雑司が谷七福神巡り	東京23
12月16日(火)	京葉倶楽部30周年記念パーティー	京葉
12月25日(木)	湘南倶楽部創立30周年記念新年会	湘南

ゴルフコンペ募集一覧

詳細はHPの各倶楽部主催ゴルフ(募集)参照。

開催日	コンペ名	場所	主催
11月15日(水)	第143回なんたい杯ゴルフ	ラインヒルGC	なんたい
12月8日(金)	第82回ゴルフコンペ	霞台CC霞コース	常磐
12月8日(金)	第121回ゴルフコンペ	グランドスラムCC	ときわ路
12月8日(金)	第104回ゴルフ会	相模湖CC	湘南
12月20日(水)	第144回なんたい杯ゴルフ	イーストウッドCC	なんたい

なんたい倶楽部忘年懇親会

まだ、コロナがスッキリしませんが、今年も恒例の忘年会を開催します。皆様の元気なお顔がそろふことを楽しみにしております。

お土産に「旅の絵ごよみ」をお持ち帰りいただきます。

期日 12月2日(土) 集合10時45分
会場 ダイニング十五家

会費 県庁舎15階(最上階)
3000円

締切 11月20日(月)
主催 なんたい倶楽部
担当 石下 良子

☎090(2304)2759

北関東倶楽部忘年懇親会
(1泊2日)

昭和の放浪画家・山下清画伯がこよなく愛した名湯・上牧温泉「辰巳館」で忘年会を開催します。この機会に、会員の皆様の親睦を深めていただきたく、ぜひお誘い合わせの上、多数のご参加を心よりお待ちしております。

期日 12月4日(月)～5日(火)
現地集合・解散

会場 18時開宴(受付16時30分)
上牧温泉「辰巳館」
JR上越線上牧駅徒歩5分
(宿より迎えあり)

会費 15000円(宿泊・宴会
時飲み物・二次会・諸税込)

取消 12月1日(金) 7500円
当日 15000円

主催 北関東倶楽部
担当 落合 守夫

☎090(2643)5756

*北関東倶楽部会員の方には「出欠連絡ハガキ」を同封します。出

欠にかかわらず、11月15日(水)までにご投函ください。他倶楽部の方は、落合までご連絡ください。

ときわ路倶楽部忘年懇親会

師走の半ば、令和5年締め括りの忘年懇親会を開催します。ときわ路倶楽部は、2017年7月に発足し、今年で6年目を迎えます。

今年はコロナ禍に加え、インフルエンザの猛威! 感染対策を万全にして、楽しい忘年会となるよう企画したいと思えます。倶楽部会員に加え、近隣各倶楽部、さらにJTB各支店の皆様のご参加お待ちしております。

期日 12月12日(火) 12時30分開宴
会場 プレジデントホテル水戸

会費 「レストラン滬(ふう)」
6000円

主催 ときわ路倶楽部
担当 池田 勇

☎090(2670)9663

『史跡巡りシリーズ』
雑司が谷七福神巡り

池袋から程近く、昔ながらの商店街をはじめ、今もレトロな香りが色濃く残る雑司が谷は、都会の喧騒から切り離された静かな歴史と文化の街です。昼食は雑司が谷割烹「大倉」を予定しています。

期日 1月7日(日)
集合 東京メトロ副都心線
雑司が谷駅出口1番 10時

行程 雑司が谷駅 鬼子母神堂
(大國天) 観静院(弁財天) 大鳥神社(恵比寿)

天) 清立院(毘沙門天) 清土鬼子母神堂(吉祥天) 中野ビル(布袋尊) 仙行

寺(福祿寿) 昼食 解散
歩行距離約5km

定員 25名
会費 4000円(昼食・保険込)
*色紙500円、鬼子母神、大鳥神社にて販売。

取消 1月4日(木) 4000円
主催 東京23倶楽部
担当 杉田 成次

☎090(5807)6220

湘南倶楽部創立30周年記念新年会

毎年恒例の新年会ですが、コロナ禍により3年間開催を見送り、4年ぶりに、1年遅れの湘南倶楽部創立30周年記念を兼ね、新年会を開催します。

新しい年が明るく良い年になるよう、また久しぶりの会話と美味しい食事で仲間と親睦を深められるよう、楽しい宴にしたいと思えます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

期日 1月25日(木) 12時開宴
会場 崎陽軒本店(横浜駅東口)

会費 8000円(お土産付)
締切 12月21日(木)

取消 前日18時 8000円
主催 湘南倶楽部
担当 大塚 謙太

☎0465(24)1801

驚澤 典子
☎045(561)3651

牧 健郎
☎080(3172)6779

栗田 保
☎080(5388)9916

*右記担当まで、電話・FAX・メールにてお申し込みください。

*申込時に携帯番号を伺います。

倶楽部だより

東京23倶楽部

『学芸シリーズ』

歌舞伎座観劇会(7回目)(報告)

歌舞伎座公演鑑賞を8月16日に実施しました。前日まで台風7号の影響が心配でしたが、当日は天気も回復し、32名が参加しました。リピーターも多く、ご夫婦や家族連れが12名参加され、和やかな雰囲気でした。

演目は松本幸四郎主演の「新門辰五郎」と舞踊「団子売り」です。「新門辰五郎」は江戸町火消し、浅草十番「を組」の頭で將軍家茂の供として上洛、祇園の火事を消したことから評判を高めます。それまで京を守っていた会津方はこれを妬み、溝は深まりますが……最後は松本幸四郎の辰五郎と中村勘九郎の会津の小鉄との味わい深い話し合いで決着します。幕末の京都を舞台に男気溢れる辰五郎の苦悩を描く群像劇で、男同士の会話の応酬や祇園の火事によって江戸町火消しの本性に目覚める辰五郎の様子など見応えがありました。

「団子売り」は坂東巳之助と中村児太郎の息の合った団子売りの姿を舞踏化した軽快な踊りでした。猛烈な残暑の中、華やかな歌舞伎の舞台を楽しみました。(森 記)

武蔵野倶楽部

東村山八国山緑地と

国宝正福寺地蔵堂を巡る(報告)

バカ殿様で一世を風靡した志村けんさんの出身地東村山市には、



豊かな自然と興味深い歴史があります。

9月13日、参加者13名は、まず『ふるさと歴史館』にて東村山の基礎知識を学びました。板碑(いたび)という、主に供養塔として用いられる石板を保存する『徳蔵寺』や、新田義貞軍と鎌倉幕府軍の合戦が繰り広げられた『久米川古戦場跡』を訪ねた後、標高90mの「八国山緑地」へ。木々の緑と鳥のさえずりに癒やされました。

『たいけんの里』では、この地には縄文時代から人々の暮らしがあったことを知りました。『北山公園』では曼珠沙華の群生を期待していましたが、今夏の酷暑のため開花が遅れていて残念でした。

『国宝正福寺地蔵堂』は禅宗様式建築で、その優美な姿に感動しました。

イタリア料理の昼食後に訪れた『大善院』では、築山の隅に一輪の曼珠沙華を発見。北山公園では

叶わなかっただけに心なみしました。残暑厳しい一日でしたが、各人楽しい思い出を胸に解散しました。なお、当日のフォト日記を関東支部HPに掲載していますので、ご覧ください。(山田 記)

北関東倶楽部

車山高原ハイキング(報告)

梅雨空の下、7月14日、高崎駅に20名が集合し、貸切バスにて車山高原に向け出発しました。途中、道の駅「ヘルシーテラス佐久南」で休憩後、車山高原駐車場に到着。雲行きが怪しくなってきたので早めに写真撮影をし、2本のリフトを乗り継ぎ、1925mの山頂に向かいました。残念ながら、山頂は霧がかかり辺りは真っ白で何も見えませんでした。

昼食後、山頂から下りていくと高原らしい景色となり、爽やかな風やウツボグサなどの様々な高山植物、小鳥のさえずりも心地よく感じました。



約3時間のハイキングで、休憩をとりながら、斜面では転ばないように皆で声がけをしました。途中、可愛らしく咲いているニッコウキスゲの群生に癒やされたりもし、無事、八島ビジターセンターに到着できました。

もう少し楽なハイキングを想像していましたが、平均年齢70歳の参加者には少しハードでした。しかしながら、帰りのバスの中では次回の親睦旅行の話で盛り上がり、皆さんまだまだ元気です。

澄んだ空気の中、「車山高原」の大自然を満喫できました。

(市川 記)

長岡大花火鑑賞(報告)

8月3日、全国的に猛暑となりましたが、越後長岡も他に違わず暑い日でした。

念願の長岡大花火鑑賞を、ちょっと強行日程でしたが、日帰りで実施しました。交通手段や有料観覧席の確保に限りがあり、参加者も20名に限定。期待感と不安感の入り混じる企画でしたが、20名の元気な後期高齢者は存分に楽しむことができました。

まず、慰霊と平和を祈る10号玉3発が打ち上げられ、いよいよ開幕。その花火紹介の場内放送にびっくり……何とJTBグループ提供のナイアガラ超大型スターマインとのこと。ここ数年の厳しい環境下に置かれた社が頭をよぎり、目頭が熱くなりました。大観衆の大歓声と割れんばかりの拍手がJTBへの応援に聞こえ、涙の開幕になりました。休みなく打ち上げられる超、超大型花火が

音楽とのコラボで演出され、言葉では言い表わせない感動的な暑い暑い時間を過ごしました。

帰りの長岡駅の混雑は予想どおりでしたが、JR新潟支社、新潟県警、地元ボランティア等多くの方々の誘導で、動線もきちんと設定され、混乱なく安全に予定した新幹線に乗り込みました。花火の感激と興奮が覚め止まぬまま帰路につきました。

猛暑ではありましたが、体調不良者や事故もなく、無事に終了しました。(今井 記)



深谷市歴史探訪 論語の里と花園 プレミアムアウトレットの旅

(報告)

9月29日、晴天の下、深谷駅に18名の参加者が集合。最初に、尾高惇忠生家を訪ねました。渋沢栄一の従兄であり、論語の師でもあった所謂「教育者」惇忠の話をボランティアガイドさんから聴きました。



旧渋沢邸(中の家)の前にて

次に、渋沢栄一記念館と旧渋沢邸(中の家)を見学しました。栄一のアンドロイドと映像を組み合わせた『イマージブシアター』で、故郷の血洗島の思い出や栄一の人となりを改めて勉強しました。その後、旧渋沢邸周辺にある清洲の碑、自害した平九郎の石碑、薬師堂、諏訪神社を巡り、「麵屋忠兵衛」にて昼食の郷土料理「煮ぼうとう&とろろ飯」の素朴な味を満喫。そして、深谷で有名な豚肉味噌漬(信州屋)と翁最中(糸谷製菓店)の買い物を楽しみ、帰途につきました。

(金子 記)

次に、渋沢栄一記念館と旧渋沢邸(中の家)を見学しました。栄一のアンドロイドと映像を組み合わせた『イマージブシアター』で、故郷の血洗島の思い出や栄一の人となりを改めて勉強しました。その後、旧渋沢邸周辺にある清洲の碑、自害した平九郎の石碑、薬師堂、諏訪神社を巡り、「麵屋忠兵衛」にて昼食の郷土料理「煮ぼうとう&とろろ飯」の素朴な味を満喫。そして、深谷で有名な豚肉味噌漬(信州屋)と翁最中(糸谷製菓店)の買い物を楽しみ、帰途につきました。

さきたま倶楽部

中華街にてランチ&横浜散策(報告)

9月21日、参加者14名にて実施。猛暑が続いていましたが、当日は少し気温が下がり、散策には良い陽気でした。

JR石川町駅に集合してから中華街(慶応2年の横浜新田居留地時代から150年以上の歴史を持ち、東南アジア最大の中華街)を散策し、「状元楼」にて昼食。

その後、山下公園、氷川丸船内を見学し、明治末期から大正初期に国の模範倉庫として建設、平成14年から商業施設として40店舗を超えるテナントが入店している赤レンガ倉庫群を散策。

最後に、運河パーク駅よりYOKOHAMA AIR CABINに乗って、JR桜木町駅に行く予定でしたが、何と私達の乗る便から強風で運休になってしまい、徒歩にて駅に向かい、帰路につきました。(石黒 記)



氷川丸前の桟橋にて

同好会だより

やぐるま(川柳会)

9月の互選句

9月の題「老」

遠い日を昨日の如く語り出し

手塚 実

僥倖な話

…丸谷才一さん②…

湘南 安西美津子

丸谷先生の著作に『青い雨傘』というエッセイ集がある。その中に『ぶらんこ』という一稿があり、「ぶらんこ・ぶらんこ、いわゆるブランコは北方騎馬民族の習俗であるらしい。金瓶梅にも主人公が、女性を乗せて漕ぐと頭がくらくらする、何故だかわからないが」とある。俳句の春の季語に『ブランコ』があり、ある句会で兼題に出された時に幼稚園のブランコのことを詠んだのだが、あの一節がずーっと引っかかっていた。

1998年3月、韓国旅行の折、豊明宮(改装前)も参観した。何とそこには高さ5mはあると思われるブランコがあるではないか!



それを見た時に「これだあ!」と思った。あそこまで高く上がれば外は見られるし、漕ぎ手は乗っている人を下から仰ぎ見ることになる

長老が病歴自慢にこにこと

横山 信之

自己主張老いの一徹譲らない

岡田 秀雄

老い加減つい比較するクラス会

竹田 圭子

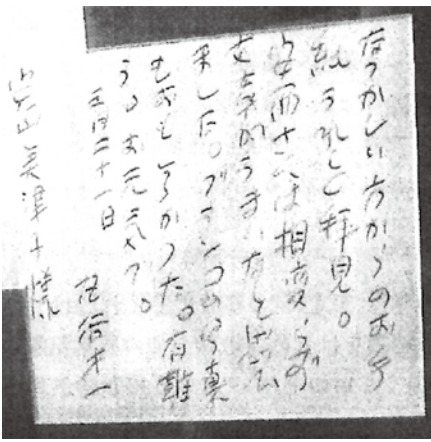
歳ごとに病名増えて友減りて

長谷川政榮

る。下着などはいっていない時代、あそこは丸見え。金瓶梅の主人公が、頭がくらくらするのとは当然のことと丸谷先生はわかつていらしたのに…と気づき、ブランコの写真も添えて差し上げた便りへの返信が左記の手紙。私の唯一の宝物である。

お便りをいただいた当座はハンドバッグに入れ、友人、知人に見せびらかして歩いた。「このようならぬ方がおかしいわね」と言つて。「万年筆の書き物では軸装はできない、額装にしたら」と言われ、そうした。今、我が家の鴨居を飾っている。

【手紙抜粋】…お手紙うれしく拝見。安西さんは相変らず文章がうまいなと思ひました。ブランコの写真も面白かった。…



もたもたと家事に追われる老の日々

丸木 正登

老いたとて負けぬ根性歩幅かな

荒井 春雄

(手塚 記)

9月の兼題「夜なべ・自由」

夜なべして時計の音の響く部屋

田中 君子

原発の灯火暗し秋出水

富岡 遊生

生温き夜風に虫の声しきり

高宮 澄子

天空の海に揺られし秋の風

行川 春枝

夜なべの茶旅の記念のマグカップ

森木 茂子

昨日今日明日も変わらぬ鯛雲

大庭 英雄

柿紅葉其処に止まる入り日かな

吉田 勝彦

会員だより

私の社会貢献

武蔵野 奥原 徹男

退職後ぶらぶらしていたら、私の住んでいる市から民生児童委員の要請がありました。他人様のお世話が出来るのかと心配しましたが、何事もチャレンジと思ひ、6年間引き受けました。

委員は準国家公務員にあたり、守秘義務があります。報酬は通信交通費が若干支給されます。最初は今まで関わってきた世界と違うので戸惑いましたが、研修や支援経験を重ねるなどして、任期を無事に務めることができました。

いろいろな体験をして大変勉強になりました。担当地区の住民から相談を受け、行政の窓口を紹介したり、困っている方を自分で見つけて支援したりしました。感じたことは、困ったことを1人で抱え込まないで行政に相談すれば、何らかの解決法があるということです。

一番大変だったことは、担当地区の身寄りのない方が亡くなった場合です。担当地区の民生委員が身元引受人になりますが、児童委員も同様の職務を兼ねます。また、子供の虐待、その他の問題等にも対応しました。

さらに、独居高齢者の見守り、声かけ活動のボランティアは9年間しました。定期的に訪問して安否確認をします。長い間顔を見ないとい心配しました。今でもゴミ出し日の朝電話で連絡等して支援しています。

良かったことは、年1回の宿泊を伴う研修旅行があり、積極的にその担当となり、全てJTBに紹介できたことです。

いろいろな体験から、人は足腰から弱ってゆくと感じ、ほとんど毎日1万歩以上、距離にして約7、8km歩いています。お陰様で、ここ数年風邪を引いたことはありません。



奥原さんが育てた月下美人

お知らせ

「旅の絵」よみ」配付の「案内」

BOB会員への「旅の絵」よみの配付は、お1人1本、次の方法でお渡しします。

①12月4日(月)に開催する関東支部忘年懇親会にご参加の方には、会場でお渡しします。

②忘年懇親会不参加の方は、12月5日(火)22日(金)、10時~17時に事務局まで受け取りに来てください(代理可)。

また、12月15日(金)までに、事務局宛に送料510円を500円と10円の切手で送付いただければ、ご自宅宛に郵送します。

③にいがた、北関東、なんたい、ときわ路の各倶楽部の方には、世話人を通じてお渡しします。

訃報

岩井 五郎さん (82歳)

令和5年7月9日

謹んでお悔やみ申し上げます。